

復学支援会議・つなぐ支援について

1 (復学支援会議の目的)

復学(地域の学校等)をすることについての本人・保護者、受け入れ側、医療側の不安を取り除き、情報共有を行います。

(つなぐ支援の目的)

療養中の自宅や病院と学校をつなぐための支援をサポートします。

2 復学支援会議・つなぐ支援に向けての流れ

①退院退所の見込み

- ・復学先への試験登校、自宅療養 等
- ・退院退所の見込み
- ・保護者、病院、担任からの情報収集

②面談

- ・保護者、本人との面談←退院・退所前に教育相談コーディネーターが日程調整
- ・復学に関する面談
- ・復学支援会議の目的について説明 ⇒復学支援会議の有無を確認
- ・「児童生徒の退院・退所に伴う資料」を養護教諭に作成要請(必要に応じて)

③会議

- ・復学支援会議
- ⇒会議方法:本校(ZOOM型開催、集合型開催)、病棟開催、復学先開催 等
- ・ZOOM型開催の場合は、事前につなぐテストを実施(必要に応じて)

④支援

- ・退院後支援、自宅療養中 等
- ・ICT機器等を活用した療養中の自宅と学校をつなぐ支援
- ・地域の小中学校へのコンサルテーション/病弱教育の理解・啓発

①退院退所の見込みについて

保護者・病院関係等から、退院退所の見込み情報が入ります。

②面談について

教育相談コーディネーターは、当初の入院期間予定を目安に担任と情報共有をして、保護者・本人との相談日程を調整し、面談を行ないます。

おもな面談内容は、復学に関することとなります。

- 復学の進め方(短時間からの登校)、ならし登校の方法
 - 不調時の対応・連絡先
 - こどもの病気のこと
 - クラスメートへの説明の仕方
 - 学校生活での留意事項
 - ・ 体育／運動制限
 - ・ 行事、部活への参加
 - ・ 教室の座席/教科書、学用品の管理
 - ・ げた箱、ロッカー(学用品の管理)
 - ・ 感染予防
 - ・ 感染時の対策
 - ・ 掃除のこと
 - ・ 動植物のへの接触について
 - ・ 紫外線対策
 - ・ 給食／食事制限
 - ・ 設備のこと
- 等

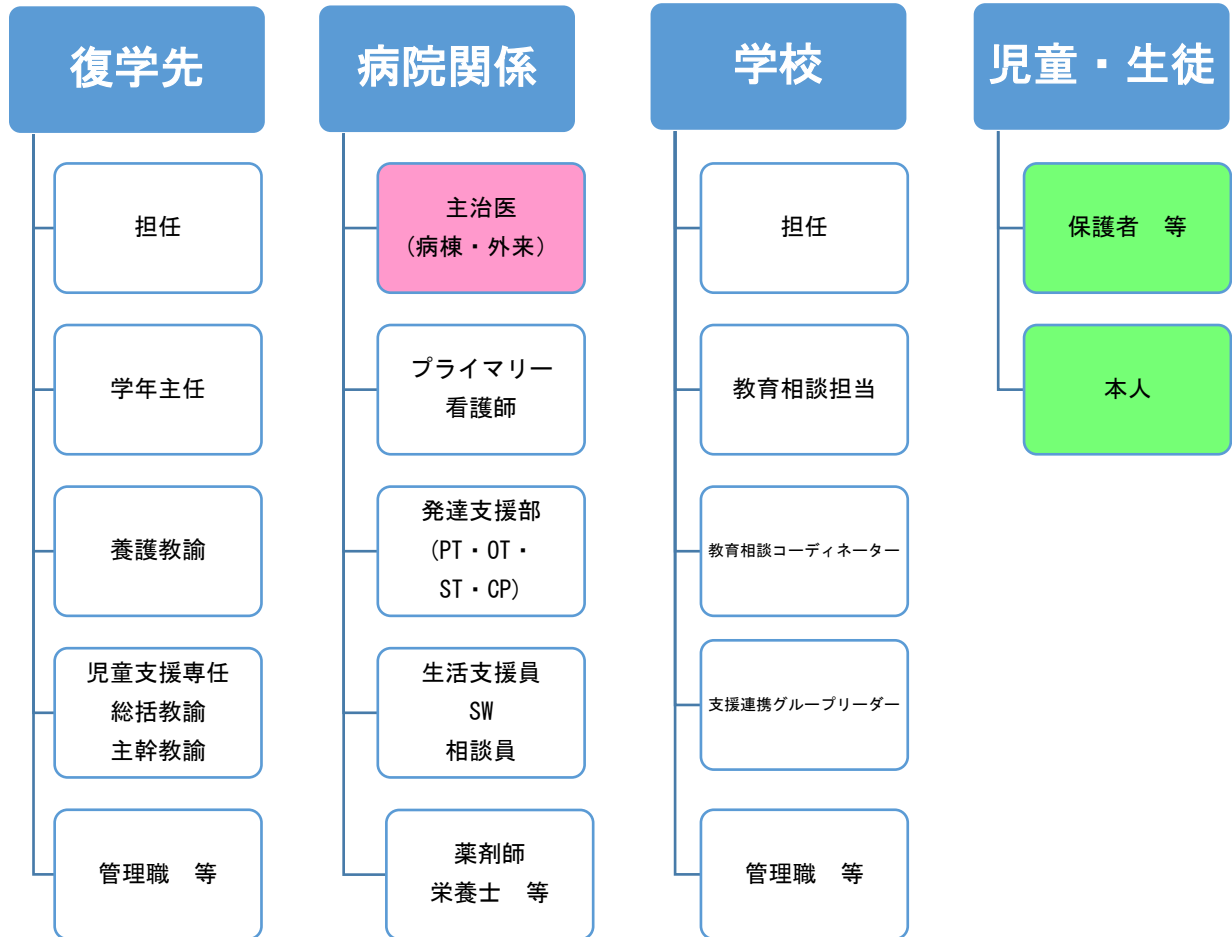
* 面談後、復学支援会議の実施の有無や「児童生徒の退院・退所に伴う資料」(肢体病棟入所の児童生徒対象)の申請等の確認をします。

* 本館病棟において医療側の資料が必要な際は、教育相談コーディネーターが保護者と連絡・確認をとりながら、必要に応じて主治医・各病棟の科長・担当看護師等とも連携を図っていきます。

③会議について

会議場所は、**状況を鑑み**（本校：ZOOM 型開催・集合型開催）、病棟開催、地域の学校開催等）開催します。教育相談コーディネーターが、参加する医療、学校関係者、保護者等の日程調整を速やかに行うようにします。

<参加者例>



* 復学校にて会議の場合

児童・生徒の状態等を考えて、復学校で会議が開催される場合もあります。

④支援について

a 病気の理解・病弱教育の理解／啓発を図ります。

必要に応じて、保護者の確認をとって、病気に関する資料等の情報提供をします。



b 必要に応じて、教育相談をお受けします。

年度をまたぐ入院加療のとき

長期的な入院加療のとき

療養中、一時退院、試験登校のとき

治療方針の変更、病気の状態変化

進路指導に関すること

対人関係に関わること

入院中に生じた家庭、きょうだいのこと

転出後の学校生活のこと、登校に関する悩み 等